

ゆうゆうバスの3台復活を

ゆうゆうバスが9月1日より、3台・3コースから2台・2コースに減らされ、バス停の廃止もおこなわれました。さらに、便数も1コース9便から8便に減らされ、日曜・祝日が連休となり、乗車パスを持っていなければ乗れなくなりました。

削減により、高齢者や障がい者の移動が大きく制約を受ける状況が出てきています。10月議会でも3台にも増すことを強く求めました。



1ヶ月半で
87人も積み残し

9月1日～10月13日の期間で87人も積み残しがでています。特に、倉治コースと郡津コースが1コースに統合されたために、郡津駅・梅が枝で多数の積み残しがでています。

■ゆうゆうバスの積み残し人数 (9/1～10/13)

郡津駅	37人
梅が枝	21人
いきいきランド	9人
交野市駅	3人
市役所	2人
神宮寺	2人
松塚上池	1人
青山	1人
私部会館	1人
ワーキングエリア	1人
ゆうゆうセンター	2人
私市山手	5人
青葉台	2人

バスの乗客が半減

昨年9月と今年9月の乗客数を比べれば、倉治・郡津コースは半減、星田コースも38%減となっています。バス停の廃止、便数の削減、日・祝日の連休、いきいきランドに行きにくくなった、体がしんどくてもパスが

なければ乗れないなど、様々な原因で乗客が大幅に減少しています。高齢者や障がい者の移動が大きく制約を受けています。

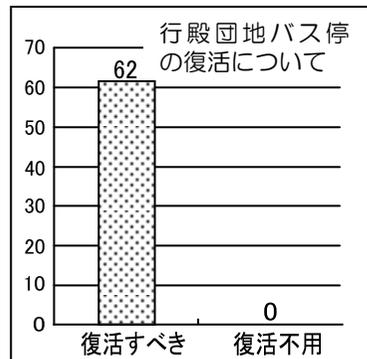
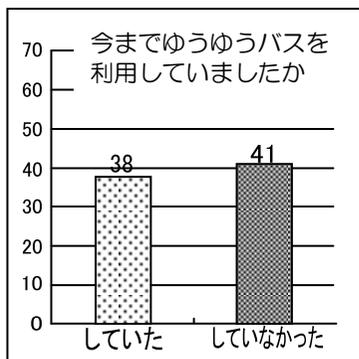
■ゆうゆうバス乗客数

	昨年9月	今年9月	昨年比
倉治コース	3,569人	1コースになり 4,430人	49%減
郡津コース	5,145人		
計	8,714人		
星田コース	4,928人	3,050人	38%減

■廃止になったバス停

【星田コース】
いきいきランド

【倉治・郡津コース】
NTT交野、天野が原町1丁目、創価会館、私部6丁目、私部8丁目、ファミリーレストラン前



バス停が廃止された行殿団地(私部8丁目)で、日本共産党はアンケート調査をおこないました。外出を止められた方も出てきており、バス復活を望んでいます。

行殿団地のバス停復活を

平成21年度決算 2億7千万円の黒字

平成21年度の決算は、単年度収支で1億4千7百万円の黒字、実質収支(今までの累計)も2億7千万円の黒字となりました。積立金も29億円に増えました。

市は、平成21年度に、財政健全化計画として、ゆうゆうバス削減・斎場使用料補助の廃止・高齢者のガン検診の有料化・交通専従員の廃止などを決めました。しかし、平成21年度決算からすれば、福祉を後退させる必要がなかったことが明らかになりました。



低所得者熱中症対策

生活保護世帯にエアコン設置を

熱中症による救急搬送が急増しました。生活保護世帯や低所得世帯では「エアコンがない」「電気代を削る」など、酷暑に耐える厳しい生活実態となっています。市に対し、エアコン設置や電気代補助を行うよう求めました。



就学援助金制度の改善を

1回目の支給は新学期にこそ必要

交野市の1回目の支給は8月ですが、「学用品購入時期の新学期に」との要望があります。仮認定で4月から実施している市もあります。新学期に支給するよう市に求めました。

保育所の給食

アレルギー食は代替食で

保育所給食のアレルギー対応は、除去食でなく代替食で対応することを求めました。市は、「食物アレルギーの対応のしおり」を作成し、一部の食材から代替食を提供したいと答弁しました。



学校のプール開放

夏休みの楽しみ減らさないで

夏休みの学校プール開放が、今年はずから日間(昨年は9日間実施)に減らされてしまいました。市はさらに、来年から監視員の予算を打ち切り、学校の先生が開催する水泳教室のみにしようとしています。

日本共産党は、「学校による開催だけでなく、市が責任をもって監視員を継続し、開放の日数を確保すべきだ」と求めました。



市政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

